

*米国本社リリース参考訳

*公式リリースは[P & G米国本社サイト](#)をご覧ください。

P & G 2018/19 事業年度 第2四半期(10-12月期)業績

純売上高は前年同期と同水準、本源的売上高は4%増、

希薄化後1株当たり純利益は31%増加し1.22ドル、1株当たり中核利益は5%増加の1.25ドル、
為替レートの影響を除いた1株当たり中核利益は13%増

2019年1月23日 米国シンシナティ発

ザ・プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー(NYSE:PG)は、2019事業年度第2四半期の純売上高が、前年同期比同水準の174億ドルであったと発表しました。為替レートと事業の買収・売却の影響を除いた本源的売上高は、4%増加しました。希薄化後1株当たり純利益は、主に前年同期に米国税制改革法の移行の影響に関する法人所得税支出が発生したことにより、前年同期に対し31%増加して1.22ドルになりました。1株当たり中核利益は、5%増加して1.25ドルになり、為替レートの影響を除く1株当たり中核利益は、前年比13%増加しました。

当四半期の営業活動によるキャッシュフローは40億ドルで、調整済フリーキャッシュフローの生産性は103%でした。当社は、19億ドルの配当金、8億ドルの自社株式の買い戻しにより、合計26億ドルを株主の皆様に還元しました。

取締役会会長、社長兼最高経営責任者(CEO)デビッド・テイラーは、「P & Gは、第1四半期の業績を原動力として、本源的売上高の成長を強力に達成し、通期の見通しを上方修正することができました。当社が重きを置いている優れた製品とパッケージ、生産性の向上、組織と企業文化の革新により、競合他社との厳しい競争やマクロ経済の状況にも関わらず、業績が改善しています」と述べています。

10-12月期について

2019事業年度第2四半期の純売上高は、前年同期と同水準の174億ドルでした。当四半期売上の為替差損は4%でした。為替レートと事業の買収・売却の影響を除いた本源的売上高は、本源的販売量の2%増の恩恵を受け、4%増加しました。価格設定は、本源的売上高に1%寄与しました。「SK-II」ブランドによるプレミアムスキンケアカテゴリーでの成長と先進市場での強力的な成長を背景に、ミックスは本源的売上高の伸びに1%寄与しました。

2018年10-12月期	販売	為替	価格				本源的	本源的
純売上高増減要因(1)	数量	レート	改定	ミックス	その他(2)	純売上高	販売量	売上高
ビューティー事業	1%	-4%	2%	5%	—%	4%	—%	8%
グルーミング事業	-4%	-5%	1%	—%	-1%	-9%	-4%	-3%
ヘルスケア事業	3%	-3%	1%	—%	-1%	—%	4%	5%
ファブリック& ホームケア事業	4%	-3%	1%	1%	-1%	2%	4%	6%
ベビー、フェミニン& ファミリーケア事業	1%	-4%	1%	1%	—%	-1%	1%	3%
P & G 全体	2%	-4%	1%	1%	—%	—%	2%	4%

(1) これらの純売上高に係る増減割合は、継続的に適用している計算方法に基づく概算値です。

(2) その他には事業の買収・売却による売上ミックスの影響、2018年7月1日から適用された新しい会計基準「顧客との契約から生じる収益」の影響、ならびに、純売上高との差異分析に欠かせない端数処理が含まれています。

- ビューティー事業セグメントの本源的売上高は、前年と比べ8%増加しました。スキン&パーソナルケア部門の本源的売上高は、二桁台で成長しました。この成長は、プレミアム製品の製品革新、スーパープレミアムブランドである「SK-II」とスキンケアブランド「オレイ」が、ともに大きく成長し製品ミックスが有利になっていること、ならびに価格設定の見直しが要因です。ヘアケア部門の本源的売上高は、価格改定により、一桁台前半の増加となりました。
- グルーミング事業セグメントの本源的売上高は、3%減少しました。カミソリ・替刃部門の本源的売上高は、米国において、為替下落に起因する値上げによる販売量減少、販売促進活動の流動性、ならびに、競争の激化が響き、一桁台半ばの減少でした。電化製品部門の本源的売上高は前年度と同水準でした。
- ヘルスケア事業セグメントの本源的売上高は、5%増加しました。オーラルケア部門の本源的売上高は、プレミアム製品の製品革新により、一桁台半ばの増加となりました。パーソナルヘルスケア部門の本源的売上高は、製品革新と価格設定により、一桁台半ばの増加となりました。
- 当四半期のファブリックケア&ホームケア事業セグメントの本源的売上高は、6%増加しました。ファブリックケア部門の本源的売上高は、製品革新、価格設定、ならびにプレミアム製品で大きく成長したことによる製品ミックスの改善により、一桁台後半の増加となりました。ホームケア部門の本源的売上高は、製品革新、販売促進活動の活発化、ならびに価格設定により、ひと桁台前半の増加となりました。
- ベビー、フェミニン&ファミリーケア事業セグメントの本源的売上高は、3%成長しました。価格設定とプレミアム製品の大きな成長によるミックスの好転が、市場での競争と価格見直しに伴う販売量の減少で相殺され、ベビーケア部門の本源的売上高は、前年度と同水準でした。フェミニンケア部門の本源的売上高は、製品革新とプレミアム製品の成長による製品ミックスの改善により、一桁台後半の増加となりました。ファミリーケア部門の本源的売上高は、製品革新、流通販路の拡大、ならびに価格設定が、増量サイズの大幅な成長を要因とした製品ミックスの悪化に一部相殺され、一桁台半ばの増加となりました。

P & Gについて

P & Gは、高い信頼と優れた品質で、市場をリードする製品ブランドを世界中の人々にお届けしています。それらのブランドには、オールウェイズ®、アンビピュア®、アリエール®、バウンティ®、シャーマン®、クレスト®、ドーン®、ダウニー®、フェアリー®、ファブリーズ®、ゲイン®、ジレット®、ヘッド&ショルダーズ®、レノア®、オレイ®、オーラルB®、パンパース®、パンテーン®、SK-II®、タイド®、ヴィックス®、ウイスパー®などが含まれます。P & Gは約 70 カ国に現地事業拠点を置き、世界的に事業を展開しています。P & Gとその製品について、最新の詳しい情報は、米国本社ホームページ <http://us.pg.com> (英語) をご参照ください。